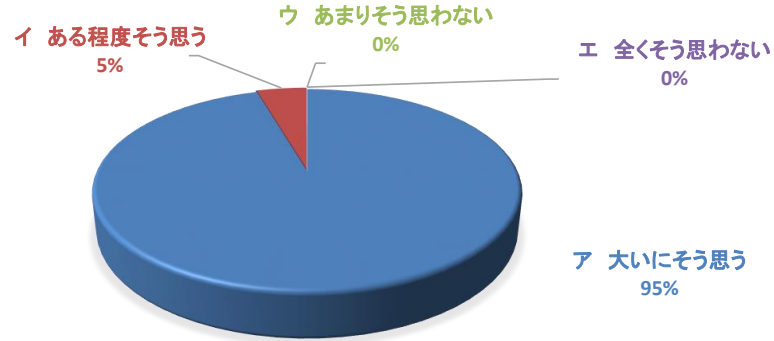
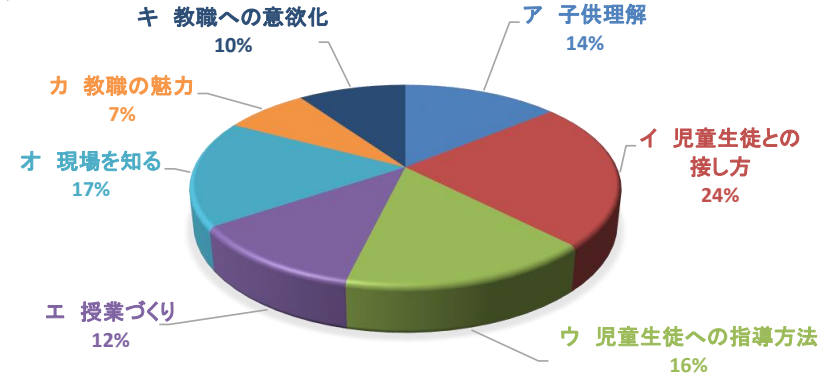


令和4年度 学生ボランティア・アンケート結果 (令和5年1月実施 23名回答)

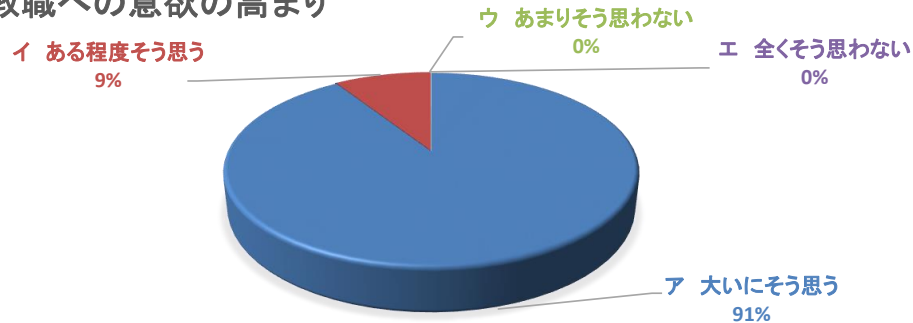
1 活動は役に立ったか



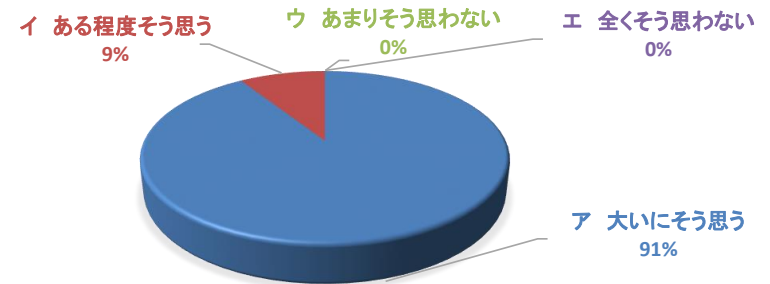
2 役に立ったこと



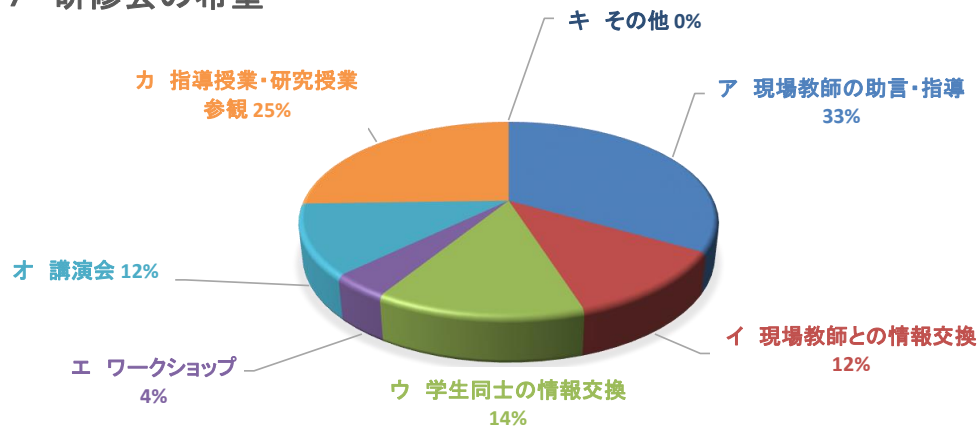
3 教職への意欲の高まり



4 自分がよりよい方向へ変化



7 研修会の希望



8 学びの場としての満足度



5 学生ボランティア活動に参加して気づいたこと、体験から学んだこと、活動を通してご自身が成長したこと(主な意見・感想)

- ・学生ボランティアに参加して、児童とのコミュニケーションを適切に行うためにも曖昧な返事や話し方では上手に取れないということを学びました。
- ・学生ボランティアに参加して学んだことについては、特に児童への接し方や教え方が挙げられると思いました。指導対象が小学生だったということもあり、集中して勉強できる児童もいる一方で、あまり集中力が続かないという児童も見受けられました。そのような中で、どのように声掛けを行えば児童のやる気を促すことが出来るかといったことや、教材の指導方法を少し工夫してみたりと様々な場面で学ぶべきことや考えさせられることが多くあったと感じました。今回学んだことを教育実習等にも活かされたいと思います。
- ・問題を教える際、問題は分かっているけどどうしたら伝わりやすいかを即座に考えて伝えることが難しいと感じ、そこで教員がスムーズに伝えることが出来ない生徒がだらけてしまってやる気を削ぐことに繋がってしまうと学びました。自分自身が上手く伝えられなかったと感じる一方で、コメントシートには『先生のおかげで楽しくできた』などを書いてもらうことができ、一生懸命伝えようとするのが生徒に伝われば生徒も楽しく勉強に取り組めると学びました。
- ・一週間に一回という少しの時間ですが、児童が見せる表情は毎回違い、元気一杯な子だなと思えば何かきっかけがおとなしかったり、おとなしい子だなと思えば打ち解けるとよく話してくれる子であったり、友達と話すときは明るく話すけど、先生と話すことは苦手そうな子だったり色々な表情があることに気がついた。また学校の先生は自分がみんなを引っ張っていくんだと思うものだと思っていたが、何かこままっているのがいたら、そっと声をかけ、児童自信や、クラスのことがどう対応するのか見守る姿が多かった。先生と言う仕事はとても大変で難しいものであるとともに、色々なことを学び、児童たちの成長や笑顔にふれあえる場であることを知ることができた。
- ・わくわく算数やWSPの活動を含めて約1年ほど活動しているが、これらのボランティア体験は大学の講義では学べないような大きな価値があるように感じている。例えば、大学では主体的・対話的で深い学びなど文言としてのみ学習するが、本ボランティア活動では実際の児童を相手にそれらが子どもにとってどういう効果があるのか実践とともに触れることができる。また、同じ学生どおしということもあり活動中や活動前後で児童のことや大学の話など共通の持っているため、自分自身の考え方や価値観を広げるきっかけにもなる。このように、大学の講義では学んだり体験することのできないような体験ができるため、私はこの活動が非常に有意義なものだと感じている。
- ・先生としての指導力、活動の進め方がとても勉強になりました。子どもに主体的に活動させるためには、教師の準備がとても大切です。いきなり子どもに自由に活動させるのでは子どもも困ってしまいます。子どもが活動を進めやすいようにあらかじめ教師が想定、準備をし、それから子どもにバトンを渡します。そうすることで、子どもが主体的に活動することも可能になるということを知りました。
- ・先生がお手本として行動で示してくださいと、この行動にはこのような意味がある」というように言葉によるご指導もいただきました。北部中学校の先生方は学生ボランティアにとても優しく接していただき、本当に感謝しております。私も先生になった際、学生ボランティアの方、実習生の子等に親身に関わっていきたくと思いました。
- ・児童の個性は幅広く、その中でまとめたりすることや教える時もみんなに伝わる言い方などが難しいと思った。勉強をやらせるより自らやるように仕向けるのは難しい。他にもできないことはまだまだあると思うので今後の学生ボランティアで見つけていき、少しでも直していきたい。
- ・わくわく算数教室の対象であった小学生と同年代のいとこがいるので、ある程度は上手く接することができると思っていましたが、同じくらいの年齢といっても児童によって性格が本当に様々なので、改めて、児童とコミュニケーションをとることの難しさを実感しました。特に、児童に理解してもらいやすい教え方を模索しながら教えることがとても難しかったです。また、同時に3人の児童の様子を見るということも大変でした。もともと仲の良い友だちである子たちがほとんどでしたが、問題を解きながら会話をしていると、いつのまにか言い合いに発展してしまう子たちもいました。実際の教育現場でクラス担任をされている先生は40人もの児童生徒を相手に教科指導や生徒指導をされているので、大学での教職課程や今回のようなボランティア活動を通して、落ち着いて適切な対応をできるようになりたいと思いました。
- ・様々なクラスに入らせていただいたことで、先生の指導法の違いやそれによるクラスの雰囲気の違いに気づきました。それにより、学校は多様な先生がいて成り立っていると改めて実感しました。実際に学校現場で活動し、複数のクラスに入る経験をさせていただいたため気づけたことだと思います。私も様々な先生方の指導法に触れることで、自分がどのような軸で子どもたちと接していくか今後も自問自答し続けたいと思います。
- ・私は不登校に関する研究を大学院でしようと考えており、その旨を教務主任の先生にお話ししたところ、各クラスだけでなく、保健室でも活動させていただけました。その際に、不登校について養護教諭の先生からお話を伺うことができ、養護教諭から見た不登校がどのようなものかを知ることができました。今後の研究に活かしたいと思います。
- ・子どもたちと実際に関わってみることで、自分の言葉遣いは適切ではないことに気づいた。子どもたちに伝わるような言葉遣いは、同学年や年上の方たちと話す時と全く違うので、より適切な言葉遣いができるようにになりたいと思う。
- ・特別な支援が必要な児童への接し方について学ぶ事ができた。
- ・夏のわくわく算数教室では、低学年を担当することが多かったため、低学年の児童との関わり方を学びました。また、楽しく学べるように自分たちでやりたい問題を選ばせるようにしました。途中で簡単な問題を挟みながらでしたが、子どもたちは最後まで楽しみながら算数に取り組むことができたと思います。
- ・わくわく算数を運営されている先生や学生さんに刺激をもらうことができた。
- ・現場の雰囲気を体験することのできる貴重な機会でした。児童との接し方や学習の教え方など、実践することのできる機会は少ないので、とても勉強になりました。

6 特に有意義であった活動や今後のボランティア活動で体験してみたい活動について(主な意見・感想)

- ・わくわく算数・数学教室について、今までの形態では児童生徒が個別に自習教材を解いて、それをスクールパートナーがチェックするという方式ですが、時には児童生徒のみで問題に対して向き合うグループワークのような時間を設けると、様々な考え方を共有することができるため、より有意義な活動になると思いました。
- ・私は、わく算のボランティア活動しか参加したことがないのですが、教職に必要な教える力を身につけるといって実践的に取り組めた有意義な活動だと感じました。今後は、授業の様子を見学して授業方法について学ぶ活動に参加したいです。
- ・まず、私が子どもを支援したり教職として実践力を育む上で特に有意義であった活動は、WSPとしての活動である。理由は、教師にとって大切なことがたくさん詰まっているからである。例えば、授業面ではどの先生方も必ず1時間の授業で1回以上児童が楽しめるような落としどころを作っていた。このような授業展開の工夫を直接学べるのはこのボランティア活動の大きな魅力ではないかと私は感じた。
- ・教師として必要な人間性も学ぶことが多かった。例えば、授業とは関係のない発言や遊びをしている子どもに対して、授業をしている先生が声のトーンを通常よりも下げて少し厳しめの言葉で注意すると、子どもは自分がいけない言動をしていることに気づくことがわかった。私自身、子どもに注意するというのがなかなか勇気が出せず言えなかったが、ときに厳しく叱ることも彼らにとっては大切なことなのだと気づかされた。
- ・今後のボランティア活動の中で体験したいことは二つある。一つ目は、WSPの活動においてもっとさまざまな学年のクラスを訪れたい。現在は主に1、2、4年生のクラスを中心に行っているが、まだ5年生や6年生のクラスはあまり行ったことがないためこの機会を使っていろいろな子どもと接してみたい。
- ・特別支援学級への授業支援(体育、数学、社会)、担当教科の授業見学、学校行事への支援が特に有意義であった。
- ・今後のボランティア活動で体験してみたい活動は、T2として授業に参加してみたいです。
- ・緒川小学校のマラソン大会は、色々な意味で特に有意義であった。
- ・家庭科での調理実習補助はとても楽しく、色々なことを学ぶことができ、有意義であった。
- ・SPに参加して放課後の部活動のサポートをしてみたいなと思いました。
- ・常時活動である「ウィークリーSP」は、将来教師になるために、とても良い経験で有意義でした。
- ・算数・数学だけではなく、さまざまな教科でのボランティア活動を体験してみたいと思った。
- ・普段の授業だけでなく、行事や「いのちの授業」などの特別授業も見させていただけたことがとくに有意義でした。普段とは違う子どもの学ぶ様子、先生方の思い、行事や特別授業の裏側などを学ぶ貴重な機会になりました。
- ・わくわく算数教室では、特定の子どもたちとの関わりだけだったので、いろいろな子どもたちともっと関わられるようなボランティアをしたいと思う。また、実際の授業での子どもの様子や、授業の際に先生方はどのような配慮をしているのかについて知ることのできるようなボランティアをしたいと思う。
- ・実際に子どもたちと近い距離で接することができたのが有意義な時間となりました。「2年生ってこんな反応するんだ」など毎回新たな発見があり、私自身もたくさんのことを学べる活動でした。
- ・冬休みわくわく算数教室に参加させていただきました。児童に課題を教えるを通して、どこで躓くのか、どのように学習の支援をするべきであるのかを学ばせていただきました。また、現職の先生方からも指導に関してのアドバイスや工夫についてのご指導をいただく機会があり、とても勉強になりました。

9 学生ボランティア活動全般について(主な意見・感想)

- ・まだ私はわくわく算数・数学教室にしか参加したことがないのですが、本当に多くのことを学ぶことが出来る活動であると感じています。今後もより良い活動となるよう支えていけたらと思います。
- ・まず、私がボランティアをさせていただいている北部中学校の先生方への感謝の気持ちを述べさせていただきます。私は北部中学校にて2年間学校ボランティアをしてきました。先生方は私の名前を覚えてくださり、ボランティアにうかがうとたくさん話しかけてくださります。私が教員採用試験を受験する際には、親身に話を聞いてくださったり、教頭先生や校長先生は面接対策もしてくださったりしました。(そのおかげで私は教員採用試験に無事合格することもできました。)先生方がとても親身で優しく接して下さる環境でボランティアをさせていただけることが本当にありがたいです。これからも精一杯頑張ります。
- ・学校現場での経験を多く積むことができる点が、学校ボランティアの魅力だと私は思っています。これまで、指導力、授業作りなど、教員として大切な事柄をたくさん学ぶことができました。実際に教壇に立つ前に、現場の先生の指導の仕方を間近で見ることができたり、子どもと接していく中で関わり方を学ぶことができたり、非常に為になりました。学校ボランティアを始めて本当によかったです。東浦町さんの充実した学校ボランティアの制度に本当に感謝しております。このような機会、制度をありがとうございます。
- ・栄養教諭を志す学生のWSP受け入れは初めてだと伺った記憶がありますが、それでも私自身の学びと経験になるように考えてくださり、活動させていただける現場の先生方に感謝の気持ちで一杯です。
- ・大学の長期休み中に開催されているボランティア活動しか参加できませんが、生徒児童と直接関わる機会はとても勉強になるので、これからもできる限り参加したいなと思います。
- ・いつも様々な経験をさせていただき、私の進路に通じる経験もさせていただいております。活動日は毎回、実践でも研究でも生かせそうな経験や学びをさせていただいているなと感じています。ありがとうございます。
- ・毎回、楽しく活動することができました。ここでの経験や学んだことを活かし、4月から頑張っていきたいと思います。
- ・私は子どもに嫌われるのが怖いのか、びしっと叱ることが苦手なのを改めて実感した。この活動を通して寄り添い優しく対応するだけでなく、そうすべき時には厳しく指導できる大人になっていきたいと思った。
- ・これからも積極的にボランティアに参加したいと思います。
- ・学生のうちに、実際の教育現場を見させて頂き実際に経験させて頂けることはとてもありがたい活動だと思います。私がお世話になっている学校の先生方は、とても優しく状況によつての指導方法など教えて下さるのでとても勉強になります。学生ボランティア活動という素晴らしい活動に参加できてとても良かったと思っています。
- ・大学生のうちからこのような体験ができるのは感謝しかありません。もともと高校の教員志望だったが、東浦町でボランティアを経験して、小学校の教員になることを決めました。これからも勉強させていただきます。
- ・教育実習を終えて、現場に行くことがどれだけ大切か、どれだけ学ぶことができるかということをとて感じたことから学生ボランティアに応募して参加させていただきました。専門教科やその他の教科に関わらせていただいて、毎回とても勉強になることばかりです。わたし自身勉強をしながら、少しでも子どもたちの役に立てるといいなという思いで、これからも活動していきたいです。